

北いぶき

No.102
2020.1



12月3日の女性部秩父別支部ステンドグラス講習会での様子
12月らしい作品に仕上がっています

員	監	監	常	代	理	理	理	理	理	理	沼	秩	妹	上	常	常	代	代	
外			勤	表							田	父	背	席	務	務	表	表	
監			監	監							地区	別	牛	理	理	理	理	事	
事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	代表	地区	地区	事	事	事	専	組	
外	高	中	畑	殿	戸	上	横	向	板	堀	德	中	堀	小	中	中	澤	黒	篠
職員	田	易	地	村	田	村	山	井	垣	田	本	易	田	山	谷	川	田	田	田
一	道	利		照	昌	昌	正		高	一			裕	雄	幸	浩	洋		
同	夫	則	誉	美	毅	樹	利	浩	誠	司	也	徹	勝	一	二	雄	樹	一	雅

新年あけまして
おめでとーございませす。



年頭のご挨拶



北いぶき農業協同組合

代表理事組合長

篠田

雅

新年明けましておめでとうございます。

組合員皆様におかれましてはご家族お揃いで新しい時代「令和」での輝かしい新年をお迎えの事と心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より農協事業に対しご支援ご協力いただいていますことにお礼申し上げます。

昨年の営農実績につきましては基幹作物の水稲では収穫を終えての作況指数が「一〇五」であった事を思い出すと組合員の流した汗が報われた一年であったと総括出来るものの、与えられた気象条件を振り返りますと六月の小雨八月九月の集中豪雨や台風の接近による強風・豪雨は水稲や畑作物を中心とする土地利用型作物に品質・収量の低下をもたらした作況指数「一〇五」に対して一抹の違和感を覚える一年でもありました。

一方、農業、農協を取り巻く環境は国による主食面積の配分が廃止され二年が経過し各都道府県に

おける地域農業再生協議会が主体

となり「生産の目安」による面積配分がなされたところですが、本

州の一部の地域では「生産の目安」を上回る作付けがなされ需給バラ

ンスに影響する事が心配されましたが、全国作況指数「九九」の

結果となり大きな影響を与えることとなく「生産の目安」取り組み二

年目を終えたところです。今年度もまもなく「生産の目安」の個人

配分がそれぞれの地域農業再生協議会から配分がなされますが、稲

作農家全員の理解と協力の下「生産の目安」が守られ需給バランス

が整うことが再生産可能な米価実現に必須であります。政策三年目

の今年度の取り組みが今後の需給調整の試金石の年となると思いま

す。

また、自由貿易対農業の状況は「TPP11」の一昨年度末の発

効に引き続き、昨年度欧州とのEPAが二月に発効し、さらにアメリカとの貿易協定がアメリカ大

統領選挙に向けての成果をアピールしたいトランプ大統領の意向もあり、貿易交渉としては異例のスピードで最終合意に達しましたが、残された分野も多く今後の交渉がどうなるか注視しなければなりません。

本来自由貿易はお互いの国が不足しているところを補う形で実現されるべきものです。国際条約は締結されると国内法の上位に位置付けされることから、国内制度を条約に沿うよう変更しなければなりません。条約の中身如何ではまさしく「この国の形」が大きく変わっていくことになりかねません。独立国「日本」としての主権を失うことが無いよう注視していかねばならないと思えます。

北いぶき管内は過去においても将来に向けても組合員と共に稲作を基軸に地域農業を描いていくことで農業に課せられた責任と米産地としての評価をさらに向上することを目指します。

また、昨年度は当農協役員改選の年でもありました。これまで農協事業運営に多大なご貢献を頂き昨年度の改選をもってご勇退された役員の方々に改めて深甚なる感謝を申し上げますと共に、新たに加わって頂いた役員の皆様と共に組

合員の負託に応えうる組織作りに向け努力する所存ですので、引き続きご支援ご協力をお願い致します。

農業・農協を取り巻く環境は問題が山積されていますが農協は「組合員」自らが出資をし、利用をし、経営をすることで組合員個々の経営に寄与し合わせて地域社会に貢献することを目的とする組織です。

農業、農協を取り巻く環境は常に農政に大きく影響されますが国民の食と生命を守りさらに多面的機能として国土を守る農業に自信と誇りを持ち、組合員の一致団結した力を農協に傾注することにより山積する課題に立ち向かわなければならぬと思えますので、今後、より一層農協事業へのご支援ご協力をお願い致します。

結びに、新しい年が天候に恵まれ取り組まれる全ての作物が豊穡の出来秋となります事、組合員の皆様は幸せ多い一年となる事を心より御祈念致しまして年頭の挨拶と致します。





年頭のご挨拶

北海道農業協同組合中央会

代表理事会長

飛田 稔 章

組合員並びにJA役職員の皆様には、輝かしい令和二年の新年を迎えられたものと心より、お慶び申し上げます。

皆様におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げます。

昨年の北海道農業は、春先に道内各地において強風に見舞われ、広範囲にわたり農業被害が発生し、一部時き直しが必要になった地区も発生しました。

その後は干ばつ等もありましたが、天候は順調に推移したことで収穫も進みました。お米の作況指数が「一〇四」の「やや良」、小麦、てん菜は平年作以上となる結果となり、生乳は良質な飼料作物確保による安定的な生産が見込まれ、作目によって違いはありますが概ね良い出来秋を迎えることができたと感じております。

しかしながら、全国的には八月末に発生した九州北部豪雨や、九月、十月と東日本を中心に大きな被害をもたらした台風十五号、十九号など、大規模な災害が発生した年となりました。

北海道においても一昨年、胆振東部地震により多くの支援を頂いた経過にあり、JAグループ北海道として全国連と協力し積極的に支援をして参りたいと考えております。

国際貿易交渉については、昨年二月一日に日EU・EPAが発効となり、日米貿易協定は昨年十月に署名がなされ、国会審議を経て十二月四日に承認案が可決されました。日米貿易協定の影響試算では、一、一〇〇億円の生産減少額のうち三〜四割が北海道への影響とみられており、JAグループ北海道として北海道農業への影響を最小限に食い止める対策や、生産者の不安を払拭することを昨年より国等に対して要請を行っており

ます。今後も動向を注視し、北海道農業が犠牲とならないよう毅然とした対応を求めてまいります。

さて、JAグループ北海道は、昨年十月十二日に第二九回JA北海道大会決議事項の実践事例や現状の課題を、JAグループ全体で共有すること、内外に実践状況を発信することを目的として、JA北海道大会実践フォーラムを開催したところです。

引き続き、組合員・JA・連合会・中央会が一体となり、大会決議事項の実践に取り組み、基本目標の達成につなげてまいります。

結びになりますが、今年の干支は庚子（かのえね）です。子には、「ぶえる・しげる」の意味があり、種子の中に新しい生命がぎざし始める状態だといわれています。

今年はこの庚子年にあやかり、農業にとつて輝かしい未来が芽生く年となること、併せて北海道農業並びに組合員、役職員の皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。新年にあたってのご挨拶といたします。





年頭のご挨拶

空知農業改良普及センター
北空知支所 支所長

五十嵐 正彦

新年明けましておめでとうございます。組合員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より普及センターの活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、令和元年を振り返りますと、消雪期も平年より一日早く、気温の経過は四月から六月中旬まで平年より高めの気温で推移しました。六月下旬から七月上旬までは、気温も平年並みで経過しましたが、その後八月上旬までは高温傾向で推移し、以降は低温や高温が入れ替わる気象経過でした。また、降水量については五月上旬に平年を上回る量でしたが、七月末までは平年を下まわり、八月から十月までの降雨量は平年より多く推移しました。

各作物の生育状況を省みたいと思います。稲は、春先の天候が良かったことから播種は平年より一日早く、苗の生育は順調で、移植作業は平年より四日早く進み順調なスタートとなりました。移植後も天候に恵まれ、活着は良好、分けつは良好で、登熟後半にやや低温の期間がありました。出穂期間の天候は良好で、登熟後半にやや低温の期間がありました。収穫作業も平年より三日早く終了しました。収穫量については、北海道農政事務所発表の作況指数では北空知は「二〇五」、平年よりやや多いですが、品種間差が大きく「ゆめぴりか」などの早生品種は平年並で、「ななつぼし」「ふっくりんこ」はやや多い傾向となりました。品質については、タンパクはどの品種もやや高い傾向で、青未熟粒や白未熟粒等による落等も一部で見られました。

秋まき小麦は、播種が順調でその後の生育も良く、越冬前の生育は良好でした。越冬後も莖数が多く、四月から六月が高温で日照もあつたことから生育は早まりかつ旺盛で、草丈と葉数は平年を上回りました。成熟は早まりましたが、登熟には大きな影響はなく、収量・品質に問題はありませんでした。

大豆は、五月下旬の降雨後、降水量が極端に少なくなり、播種作業が降雨前では出芽は順調でしたが、降雨後では出芽が大きく遅れ、生育のは場間差が大きくなりました。また、六月・七月は少雨傾向だったため生育量が少ない状態で開花に至り、このため莢数は少なく、収量は平年よりやや少なくなりました。

ソバは、六月の少雨の影響で出芽がほ場間やほ場内で大きくばらつきました。出芽が遅れたほ場では、成熟が遅れましたが、生育量は多くが回復しました。収量は、生育のばらつきや高温による着果障害で個人差が大きくなりました。が、概ね平年並みとなりました。

花きの主力品目である「スターチス・シヌアータ」は、五月・六月の高温・多照の影響により生育は前進し、出荷は早まりました。品質は高温の影響から短茎傾向と

なり、下位等級が増加しました。また、高温・乾燥条件で経過したためハダニ類の発生が早く、発生量も多くなりました。出荷量はやや多いものの、単価は高単価だった前年と比べ安く、販売金額は前年を下回りました。

農業をとりまく環境は、日米貿易協定の交渉や、TPP11、EPAなどの動きをはじめ、農産物の輸出拡大、農業情報通信技術（ICT）の推進など、めまぐるしく農業構造が変化しています。また、地域では高齢化に伴う後継者不足や労働力不足、熟練農業者の技術伝承などが大きな問題となっています。

普及センターでは、地域農業を支える多様な担い手育成、多様化する食市場へ対応した生産力の強化、高付加価値化を創造する農業・農村づくりを基本課題に、関係機関の皆様と連携しながら、現場の声に耳を傾け、知恵を出しあい、地域農業の維持・発展を目指して活動を進めて参ります。

本年が皆様にとって実り多き年となりますよう、ご健勝ご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



年頭のご挨拶

北いぶき農業協同組合

青年部 部長

戸村 哲也

新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、希望に満ち溢れる新年をご家族お揃いでお迎えのこと、心からお慶び申し上げます。

まず、日頃より我々青年部活動にご理解、ご協力を頂いている組合員の皆様に心から厚く御礼申し上げます。また、三町行政、各関係機関、各関係団体の皆様におかれましても、我々青年部の活動にご理解、ご協力を頂いておりますことに、重ねて厚く御礼申し上げます。

さて、令和の幕開けとなった昨年を振り返りますと、水稲の作柄に関しましては、比較的好天に恵まれ、移植、生育と順調に経過し、作況指数としては北空知で「一〇五」となりました。昨年よりは良い作柄であったものの、生産者としては作況指数には届いていない実感があります。

農政に目を向けますと、日米貿

易協定の承認案が十一月十九日に衆議院で可決され、今年から発効されています。北いぶき管内の基幹作物である米に関しまして、関税撤廃、削減品目からも除外され、当初米国を含んだTPP12で合意

した、最大七万トンの輸入枠もこの協定には設けられなかったため、稲作農家にとってはひとまず安堵する合意となりました。しかし、その他の品目につきましては、TPP並の市場開放を受け入れる結果になりました。我々青年部盟友一同、将来の地域社会の担い手として、今後の動向を注視するとともに、様々な場面で政策提言をしていかなければならないと、改めて考えました。

青年部活動においては、「挑戦」を重点活動目標に掲げ事業展開をすすめてまいりました。交流会事業では、本来予定していた事業とは違う形になってしまいました。多くの盟友の参加をいただき、交流を深めるとともに情報交換の

場として活用することができました。

学習会事業においては、日まぐるしく変わる農業情勢に対応できる力を養うため、基本的な事から最新の技術、情報などを学んできました。また、今年度から新しく事業を追加し、NOSAIとの学習会を実施し、いつ見舞われるかわからない自然災害等への対策を学びました。

他にも地域や消費者の方へのPR活動として、ファームレターやスノーメッセージの製作を行い、食の重要性や農業の魅力を発信、周知できるよう活動しました。また、今年度は米販促事業といたしまして、農協、行政の協力のもと、関東での北いぶき産米の販促活動を行うことができました。消費者の方々と交流を持つことができ、安心、安全を直接PRする事は、米の消費が冷え込んでいる近年において、さらに重要になると思います。

我々北いぶき農協青年部は今でこそ一〇〇名を超える盟友が加入していますが、後継者不足に伴う盟友の減少はさけられない問題だと思えます。そのような状況の中でも、我々には生産量を維持し、安心・安全な北いぶき産の米を安

定的に供給していく責任があります。その為にも我々JA青年部は、北いぶきを支える基幹産業の担い手として、青年部活動を通じて仲間を作り、盟友同士のさらなる団結を目指し、活動そのものを縮小させることなく事業の展開を図っていきたくと考えています。

最後に各関係機関、各関係団体の皆様より一層の御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、組合員の皆様、青年部盟友の皆様のみますの御健勝での御活躍、御多幸を御記念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。





年頭のご挨拶

北いぶき農業協同組合

女性部 部長

我部山 真美

新年あけましておめでとうございます。組合員の皆様お揃いで新時代「令和」の新春をお迎えのことと存じ心からお慶び申し上げます。また、日頃より、女性部活動に多大なご理解、ご協力を頂いておりますことに心より感謝しております。

昨年を振り返りますと、春先より比較的天候が順調に推移し、五月の強風で多少の被害は受けたものの、その後も好天に恵まれ農作物全般生育が進んでいきました。基幹作物である水稲においては急ぎ足で作業を準備している収穫間際、低温・日照不足の天候不順が続き、昨年の不況が脳裏をかすめました。作況指数「一〇五」と出来秋に胸を撫で下ろすこととなった年となりました。

しかし、関東をはじめ中部・東北に至る広範囲にわたり大雨等災害で被災されている報道を目の当たりにしますと、「今年もか」と、心が痛み被害にあわれた方々にお

見舞い申し上げると同時に、この地域にも起こり得る自然災害に他人事ではない思いになります。

十一月のJA北海道女性リーダー研修会・北海道家の光大会において「学ぼう、地域でとりくもう、SDGs」と、題した講演で環境問題を解りやすく解説して頂きました。異常気象・自然災害問題等は日本のみではなく各国でも多発しており、地球規模で危機的な状況にあると強く感じさせられました。その原因の多くは人為的なものであり、特に大きな要因とされている地球温暖化は、農業が最も影響を受けやすいものでもあります。この問題に農業者一人ひとりが知恵を出し合い、積極的にJAと取り組んで、対策していく必要があると痛感する機会になりました。

女性部活動では、六月に三支部合同研修を開催、今年度は三支部混合のミニ運動会で競い合いました。体育館には応援と笑いで大勢

の声が響きわたっていました。その後の懇談会においては焼肉を楽しみながら、事務局考案のゲームで盛り上がり、部員の皆様からも好評で、三支部の垣根を越えて仲間と近づけた研修になったと思います。

また、HBC放送の「あぐり王国北海道NEXT」では、直播栽培について春・秋と放送され、北いぶき管内が周知されたことは大変うれしく思います。お忙しい中、女性部妹背牛支部の役員の方にお手伝い頂きましたこと、この場を借りてお礼申し上げます。

「あぐり王国北海道NEXT」に出演されている森崎博之さん三年に一度開催している女性部イベントにお招きし、ご講演頂きました。日本の食料自給率の低さ、国産作物の安全性と食の大切さや北海道の魅力を熱く私たち農業者に伝えてくださりました。その姿勢に脱帽しつつも、安心安全な作物を作ること、より自信を持つことが出来ました。森崎さんの話術に終始笑いが絶えず、参加された皆さんは本当に楽しいひとときを過ごすことができたのではないのでしょうか。

昨年は様々な活動を通して、農業者・女性部員としてその在り方

を再確認しました。女性部員減少に歯止めの利かない状態でも仲間がいて、たくさんの人との繋がりを楽しみ、「何ができるか」と常に考えることで大きな活力となるでしょう。JA役員との意見交換会でも減少における意見要望をお伝えしましたように、小さなことから声出して発信していきましよう。

これからも楽しめる女性部づくりを行って参りますので、部員の皆様、各関係機関の方々の一層のご理解とご協力、またご指導のほどよろしくお願い致します。

本年も皆様が健康で充実した一年を迎えられますように心からご祈念申し上げます、年頭のご挨拶と致します。



絆

～ THE YOUTH FACE ～



長谷 修幸さん

妹背牛・妹背牛南農事組合

作付品目
 水稻・大豆
 麦・鑑賞用かぼちゃ

【今後の農業に】
 妹背牛町でも後継者減少の兆しが見られ、一戸農家における経営面積の増加が

は、高校卒業後の進路を決めるときに「もったいない」という心境に至ったからです。祖父の代から取り入れていた水稻の直播栽培の技術が安定していたこともあり、父親の代では作付規模を広げました。それに伴いトラクターや耕運機などの農業機械も多く導入してまいりました。先代から続けて来た農業家系が、自分で途切れてしまうかもしれないという事に後悔が残ると思ひ、農業を仕事にすることにしました。

【農業】を選択した理由



子供たちに大人気の田植え機の試乗体験で小さな子どもの補助をしている様子です
 (コーブさっぽろ主催田植えツアーにて)

予想され、労働者一人当たりの負担が大きくなりつつあります。特に稲作が主である我が家では、最も忙しく感じる水田の耕起作業を省力化したいと考えており、将来は自動操舵やRTKといったモノを採り入れていきたいと思っています。

【農家歴】青年部員歴

就農と同時に青年部に入部し、今年で十一年目となり、さまざまな経験をさせてもらいました。ひと回り以上年上の先輩と知り合い、笑ったり、怒られたり、真剣に話し合ったりと、たくさんの言葉を交わすことで人間的に大きく成長させてもらいました。

青年部として中堅の位置にいる自分としては先輩から受け継いだ精神や、してもらって嬉しかったことを今度は後輩たちに渡せるようにしたいです。

今後青年部員は大きく減少していくと思ひます。しかし、少ない人数でも元氣よく地元を盛り上げるため強い結束力をもって「自分らしくいられる組織」であって欲しいと思ひます。

【共に農業を行う家族へ】

農家として未熟な自分ではありませんが、将来経営移譲してもらったときに困ることがないように、父の仕事に懸命に食らいついています。人生の大半を農業に捧げた父親は自分にとって身近な先生であり、超えるべき壁でもあります。

【農業】の外の過ごし方

学生時代からバイクに強い興味があり、ツーリングでできたつながりも大事にしています。最近では、あまり乗る機会に恵まれず寂しくもありますが、いつか道外へツーリングに行ってみたいと思っています。



地元妹背牛の夏祭りでは青年部で出店



主幹である水稻の稲刈り時期は気合が入ります

第30回

J A 北海道大会 実践フォーラム



出席した J A 常勤役員
(手前から殿村常勤監事、澤田常務、黒田専務、中川常務、篠田組合長)



フォーラムの様子

十一月十二日、札幌市教育文化会館にて「J A 北海道大会実践フォーラム」が開催され、全道各地の J A 及び連合会の役員、青年組織・女性組織の代表等約千名が集まる中、J A 北いぶきからは常勤役員五名が出席しました。

このフォーラムは、昨年十一月に開催された第二十九回 J A 北海道大会決議事項の実践事例や課題を J A グループ北海道全体で共有を図り、実践への機運を高め、J A グループ内外に発信することを目的に開催されています。

今回は日本経済新聞社編集委員による基調講演や、農林水産省職員による情勢報告の他、道内 J A での実践事例発表が行われ、それぞれ地域が抱える諸課題の解決に関して多くのきっかけを得ることができました。



妹背牛地区



沼田地区

第四回 農事組合長会議

十一月二十八日、沼田町ほろしん温泉ほたる館にて今年度四度目となる農事組合長会議が開催されました。

沼田町菅原副町長など来賓が出席される中、普及センターより、今年の農業情勢を振り返った講評があり、より良い農作物作りに向け、来年度への対策などが語られました。

その他、J A より令和元年農畜産物に係る販売・生産についてなど多岐にわたってご報告・ご説明をさせて頂きました。



秩父別地区

農事組合長視察研修 台湾の米事情を視察

十一月十一日から十四日にかけて台湾を訪れて、JA北いぶき農事組合長会（内山淳会長）の視察研修を実施しました。

台北から新幹線で台南へ移動し、「雲林県東遠碾米工場」を視察見学しました。米の乾燥調製・精米以外に、種子選定から管理・収穫まで、米の高品質確保を地域生産者と共に「高品質でおいしい雲林」生産に取り組んでいました。

その後、台中市へ移動し「彰化県台湾穀堡（中興米博物館）」を見学。台湾で唯一見学のできる米の観光工場で、工場内は製品・品質管理が徹底されており、日本同様、安心・安全への配慮が強く感じられました。また、世界各地の米の展示や、米文化を映像で紹介されている展示もあり皆さん真剣な様子で見入っていました。

その後は台北市に戻り士林夜市を訪れた他、故宮博物院や野柳海洋世界・北海海岸公園や九份老街を訪れ、台湾の文化・歴史を学びました。



「雲林県東遠碾米工場」では、同じように高品質での生産にこだわる姿勢に感銘を受けました



参加した皆さんで記念撮影

冬期地区別農事組合別懇談会・ 女性部との懇談会 開催

十二月二日、三日の日程で各地区の農事組合並びに女性部を対象とした懇談会が開催されました。

篠田組合長、黒田専務より令和元年を振り返った挨拶がされると、令和元年農畜産物に係る販売・生産についての他、近年、甚大な農業被害が発生している自然災害への対策マニュアル、法改正に基づく各事務所の「分煙対策」、JAの事業運営に係る組合員満足度調査など多岐にわたってご報告・ご説明させて頂きました。

参加して頂いた組合員、女性部の皆様からは、数多くの意見や要望



女性部との懇談会

望、質問など貴重な声を頂きました。JAでは、これらに対し、慎重審議を重ね、事業運営に反映させるべく、最善の努力を尽くして参ります。



妹背牛地区・妹背牛南



秩父別地区・稲豊



沼田地区・沼田中部

空知管内JA青年部 海外農業事情視察研修

JA空知青年部連合会主催の第三十回空知管内JA青年部海外農業事情視察研修が十月二十七日～十一月二日の日程で行われました。

JA北いぶき青年部からは、岩渕佑介さん（沼田）、菅原潤一さん



世界トップクラスの農業機械メーカー「ジョンディア」の販売ディーラーを訪れました

（妹背牛）、杉原裕基さん（同）、植田辰徳（秩父別）、横山陵さん（同）の五名が参加し、アメリカ西海岸方面を視察しました。



「オール・ドローン・サービス」では、作物の分析や監視、害獣を追い払うなどドローンを駆使し様々なサービスを提供しています

初日訪れたサクラメント市の米農家「スパングラー農場」では、七五〇haを作付けしており、直線距離が一六〇〇mもある圃場があり、播種や防除、追肥には飛行機での散布を行っていました。また、乾燥地帯であり、乾季の四月～十月は雨が降ることはほとんどなく、雨や雪溶け水を貯水して利用しており、現地では「水は、金よりも高い」と重宝されている様子でした。

同じくサクラメント市にある飛行機散布作業の受託会社「ファームエアーフライングサービス」を視察。アメリカでは、農薬の購買、散布についての規制が厳しく、書類作成だけで相当な苦労を要するそうです。そこで全てを請け負ってくれるこうしたサービスが普及しています。こちらの会社では、一度に約二五〇〇ℓの農薬をまくことが出来るセスナ機を使用しており、GPSを使った飛行で誤差は三〇cm以下だとい

ます。また、農地を管理しています。また、農地を調達できない新規就農者のための就農者育成農園としての側面も持っており。この事業は、アメリカでの農業者の人手不足を解消しようとする目的で、農家未経験の人にも農家に興味を持ってもらうための試みでした。

その他、研修では麦農家や観光型農業施設を実施している農家、ファーマーズマーケット、農業機械メーカーなど多くの取り組みを肌で感じてきました。



「ファームエアーフライングサービス」で使用しているセスナ機をバックに

JA北いぶき女性部加入推進イベント 森崎博之氏による講演会を開催しました

十一月十一日、本所三階大ホールにて、三年に一度開催している女性部加入推進イベントを開催しました。このイベントは、女性部へ加入していない方への女性部のPRと女性部員の皆様へ女性部の魅力を再確認して頂く目的で三回目の開催となりました。

今回のゲストは、HBC放送の番組「あぐり王国北海道NEXT」(以降、「あぐり王国」)にて、今年JA北いぶきとゆかりのあった森崎博之氏にお越し頂きました。「生きることは食べる」と題し、集まった約一三〇名の女性部・未加入の方へ講演して頂きました。

我部山部長の挨拶に始まり、営



当選され、直接サインを頂く内海 由美子さん (秩父別地区・日の出)

農推進事業部より女性部の目的や組織、活動内容について説明がありました。

森崎氏が登場すると大きな歓声、拍手が起こり、ステージへ上がるタイミングを捉え、冒頭から大盛り上がりを見せました。笑いを交えながらの自己紹介、自身の出演作品、番組を紹介すると、自らの肩書を「北海道ローカル農業タレント」と呼び、北海道を推して活動する理由、北海道の魅力について語り始めると、「農業」の話題へ。

「あぐり王国」での体験を基に、子どもへの食育に関する内容や独自の捉え方による食料自給率上昇への対策、番組で紹介したクイズなども行いました。中でも、「野菜を雪の下で保管して春に出荷する」という道内でも各地で行われている製法を例に、地方農業を応援しながらも「もっと演出を考えなければ」と、その想いを語りました。

最後は抽選会を行い、当選した幸運な五名の方に森崎氏がその場で書いたサインをプレゼント。お集まりいただいた皆さんは、終始笑顔でとても楽しんで頂けた様子でした。



参加された皆さんは常にこの笑顔で大盛り上がり



講演中も大きな身振りやアクションで目が離せません

J A役員と青年部との意見交換会



農業の先輩として営農についてのアドバイスも

十一月二十六日、本所三階大ホールにてJA北いぶき青年部とJA役員における意見交換会が行われました。冒頭、篠田組合長の挨拶では、「これから米作りを主軸にして頂きたい。それにむけて皆さんで同じ方向を向いて活動を行って欲しい。」と、次世代の農業を担う青年部の盟友へ期待の言葉がかけられました。

意見交換では、主に十一月下旬に関東方面で行われた北いぶき

ブランド米の販促活動の話題が上がついていました。「選択肢が多い首都圏でのファンの獲得」「販促イベント以外で日常的に購入してもらう方法」「北海道産米というブランドの中で、北いぶき産米として活躍するには」など、各々が感じた課題やブランドのあり方に対する議論が熱く交わされました。



J A北海道女性リーダー研修・北海道家の光大会 開催



手作り工夫展に出席された黒田こずえさん(沼田地区・沼田中部) 作の布地蔵古布に小豆と綿を詰めて作られています



J A北いぶき女性部(我部山真美部長) 役員九名は十一月七・八日、札幌市ガトーキングダムサッポロにて開催された、令和元年度J A北海道女性リーダー研修会・北海道家の光大会に参加しました。本大会には今年も全道各J Aから約五五〇名が参加しました。

一日目は、「学ぼう、地域でとりくもうSDGs」を演題に日本協同組合研究機構主任研究員の文珠正也氏に持続可能な開発目標(SDGs)と協同組合の関係について講演して頂きました。国連によって定められた二〇三〇年までに達成すべき十七の目標について、日本の達成度やマイクログラスチック問題、子供の貧困問題について詳しく解説して頂きました。

二日目は手づくり工夫展が開催され、北いぶき女性部から出展したドアリース、モザイクタイル雑貨、布地蔵は他J A女性部の方にも大変好評でした。会の最後は「女性の歌」を全員で斉唱し終了致しました。



「東京新宿ベジフル株式会社」の担当者の方と真島組合長

蔬菜類生産組合道外視察研修

十一月十七日から二十日にかけて北いぶき蔬菜類生産組合（真島秀樹組合長）は道外視察研修を行い、ブロッコリー、ミニトマトの出荷先である「東京新宿ベジフル株式会社」を訪問し、斉藤常務取締役、青果担当者の方々とお会いし、懇談する機会となりました。

その中で、真島組合長が出荷し

ている農産物の質について伺ったところ、担当者より「北いぶき産の生産物はクレームもない良品質なもので、来年度もたくさんのお言葉を期待しています」とのお言葉をいただくことが出来ました。参加した生産者の皆さんも農産物を実際に取り扱って頂いている担当者から直接言葉を聞くことで、来年度も良品質な作物を生産していくモチベーションに繋がる研修となりました。

北育ち元気村花き生産組合 女性研修会

北育ち元気村花き生産組合（石田隆広組合長）は十一月八日にほろしん温泉ほたる館にて、女性研修会を開催し、フラワーアレンジメントと市場関係者による講演会を行いました。

参加された約八〇名の女性生産者や関係者に向け、石田組合長より販売高や花き情勢に触れた挨拶後、当麻町より「花工房比呂」の皆様をお招きし、フラワーアレンジ教室を開始しました。最初にアカメヤナギの曲線を使い額縁のように成形。しかし、これが当日



困ったところは「花工房比呂」の代表中島さんが丁寧に教えてくれました

一番難しい作業で、参加された皆さんも顔をしかめながら大苦戦でした。そこにオンシジウムやセンニチコウを絡ませ、スターチスやカーネーションを挿して完成。インパクトのある作品の出来に皆さん嬉しそうな表情でした。続く講演会では、「京都生花」の斎藤さん・同じく京都の花屋「花POT」の水谷さんに講演して頂きました。「生産者は自分たちの花がどう使われているか、何が望まれているかを知るチャンスであり、どう作っているかを消費者に知ってもらえるチャンス」と、情報発信・収集について語られました。その後、「今から情報発信をしましょ

う」と、生産組合のCM撮影にチャレンジ。突然聞かされた参加者の皆さんの戸惑いながらも、CM動画の踊りを三〇分ほどしっかりと練習し、見事に撮影を終えました。参加者からは「お話を聞くだけかと思っていたら、踊ることになってびっくり！」などの声が上がっていました。（撮影したCM動画はYouTubeへアップされています）

<https://youtube.com/WvypkviAW0o>



30分ほどぶっ通しで練習を重ねて本番へ！

広報JA北いぶき発行100号記念 プレゼントキャンペーン



※当選者の発表は、商品の発送をもって
かえさせていただきます。

ご応募頂きありがとうございました。
当選された皆様、おめでとうございます！
今後とも皆様に愛される広報誌になりますよう、役職員一同、
より一層励んで参りますのでよろしくお願い致します。

理事会報告

第十回理事会(十一月二十五日付)

【報告事項】

管理本部

- 当面における農協行事予定について
- 固定資産の取得・処分・主要修繕費の支出について
- 組合員の加入・脱退等の申し出について
- 準職員の動向について
- 疑わしい取引の届出状況について
- 永年勤続表彰対象者について
- 職員の動向
- 金融共済事業本部
 - 長期資金の貸出し状況について
 - 令和元年度JA共済コンプライアンス点検結果及び改善方針の概要について
- 「クミカン収支見込み」の送付について
- 営農販売事業本部
 - うるち米を巡る情勢について
 - 令和元年度米空知管内JA検査入庫状況及び米施設検査見込数量について
 - 令和元年度農畜産物販売支払高見込みについて
 - 令和元年度中間米・くず米精算について
 - 令和元年度施設調製大豆の仮渡金について
 - 令和元年度産集荷奨励対策金の支払について

- 令和二年営農計画に係る主食用米販売収入計画について
- 令和元年度うるち米追加概算支払について
- 令和元年度花卉・蔬菜の直近取扱い実績について

購買施設事業本部

- 妹背牛支所生産資材旧二号倉庫解体工事の進捗状況について
- 購買施設事業実績検討表(十月末)について

【決議事項】

議案第一号

令和元年度事業収支見込(十月末基準)及び、定時給与(年末手当)の支給について

議案第二号

「職員就業規則」並びに「準職員就業規則」の一部改正について

議案第三号

固定資産の取得について

議案第四号

役員定数等検討委員の辞退並びに委嘱について

議案第五号

出資金の譲渡について

議案第六号

理事に対する利益相反取引の承認について

【協議事項】

- 令和元年度末組合員懇談会の開催に係る日程及び提出議案等について



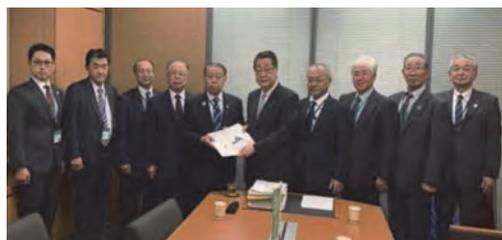
JAグループ通信

JA北海道中央会



JAグループ北海道は11月14日に東京都にて、「経営所得安定対策の単価改定」と「総合的なTPP等関連政策大綱の見直し」に向け、道内与党国会議員や農林幹部に対する中央要請、並びに農林水産省と意見交換を実施しました。経営所得安定対策では3年に一度の単価改定の見直し議論が行われていることから、輪作バランスや畑作経営に対する影響を考慮し、単価が大きく変動しない単価設定とすることや、各作物の生産振興対策などを求めました。TPP等関連政策大綱の改訂にあたっては、相次ぐ大型貿易協定の発行による、中長期的な北海道農業に与える影響が大きいため、各作物別の需給調整・価格安定対策の充実強化、生産基盤の強化に向けた対策を求めました。

今後も、北海道の農家、組合員が安心して営農できるよう取り組んで参ります。



JA北海道信連



収穫体験や調理体験等の独自イベント、「旬食カレッジ」は今年で4年目となり、今回は一般の女性の方々を対象に、8月、江別市で開催しました。また、全道各JAの協力を受け、今年度から新たに「親子で学ぼう！あぐりキッチン教室」を、全道各地で延べ25回開催しました。これらの食農教育活動を通じて、食や農に対する関心を高め、JA・JAバンクのサポーターを育てる取り組みを行っています。



JA共済連北海道



JA共済連北海道は、「2019年度 JA 共済全道小・中学生交通安全ポスターコンクール」の表彰式を10月26日（土）にANAクラウンプラザホテル札幌にて開催しました。46回目を迎える同コンクールは、全道より3,296点の応募をいただき、その中から金賞9作品が選出され受賞されたみなさんが表彰されました。

今回受賞された作品は、さっぽろ雪まつり会場・道庁ホールでの展示等が予定されています。



ホクレン



ホクレンと北海道米販売拡大委員会は10月17日、北海道産の2019年新米発表会を東京都内で開きました。発表会には鈴木直道・北海道知事とCMキャラクターを務めるタレントのマツコ・デラックスさんらが出席しました。ホクレン内田和幸会長より「今年は、ご満足いただけるおいしい北海道米をお届けできます」とアピールし、マツコさんはステージ上で新米を試食し、「実は一番好きなのが『ふっくらんこ』」と楽しいトークで盛り上がりました。



JA北海道厚生連



10月23日(水) ホテルポールスター札幌において、令和元年度北海道福祉のまちづくり賞の表彰式が行われ、JA北海道厚生連特別養護老人ホーム摩周が公共的施設部門の「北海道福祉まちづくり賞」を受賞しました。この賞は福祉的配慮に優れた公共的施設等におられるもので、福祉・建築・市民活動等の有識者で構成する会にて審査が行われ表彰が行われました。この賞を機に施設としての充実だけでなく、入居者の皆さんの生活の充実に向けて更なる向上を目指したいと思います。



JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容をご紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

がんばれ!日本の農業

JAグループ 一休 修

耕ぞう、大地と地域のmiraい。 JAグループ <https://org.ja-group.jp/>

女性部妹背牛支部 部員研修ドアリース講習会開催

十一月一日、女性部妹背牛支部（栗原明美支部長）は妹背牛支所三階大ホールにてドアリース講習会を開催し部員五〇名が参加。旭川市にある（有）四季彩より、曾我部幸裕氏を講師としてお招きしました。

用意して頂いたドアリースの土台に、参加者の皆さんはヒバの葉やシルバークオーナメントなどで好みの装飾に仕上げていきました。夢中で作業を進める中、時には「難しい」、「上手く出来ない」と、首をかきげる場面もありましたが、部員同士で相談しながら楽しそうに制作していました。

講師の方からは、「クリスマスに飾る人が多いけれど、ドアリースは季節問わず飾れるものなので、好きなときに飾って下さい。」と、完成した作品はクリスマスカラーではなく、いつでも使用できるものでした。多くの皆さんから「家で飾るのが楽しみ」の声が上がった講習会となりました。



素敵な出来栄に笑顔の渡辺 理恵さん（妹背牛地区・妹背牛南）



真剣な表情で、好みの飾りつけに悩みます

女性部フレッシュミズ妹背牛支部 冬期レクレーション開催

J A北いぶき女性部妹背牛支部フレッシュミズ会（大山真唯子会長）は十一月十三日、妹背牛町保健センターにて冬期レクレーションを開催しました。今回のレクレーション開催は、会員の加入推進も兼ねており、大山会長を筆頭に、地区内に住む農業に関連を持つ女性に参加を募りました。今回は、曾根プラトノヴァアンナさんがフレッシュミズ体験入部としてレクに参加され、会員六名と計七名での開催になりました。

レクでは、講師の方に指導して頂きながらヨガに挑戦。日常使わない筋肉や臍



参加した皆さんで記念撮影（前列真ん中が曾根さん）



きつい態勢でも皆さん笑顔

を伸ばすと、参加者からは笑いとお悲鳴があがりました。楽しくヨガを行った後は、豪華景品を用意したビンゴ大会を開催。懇親会として、体験入部された曾根さんとも交流を深めることが出来ました。

会員の皆さんもフレッシュミズでの加入推進について「新たな試みでしたがヨガを通じ楽しい交流になった」と好評でした。

青年部沼田支部 沼田小学校での食育事業を実施しました



つきたてのお餅を小さく丸めて、給食と一緒にいただきます！



元気に餅つきをする子ども達をやさしく見守る青年部の皆さん

餅つきは、児童たちが青年部から餅のつきかたを教わりながら精一杯、杵を持ち上げ餅つきを行っていました。その後、各教室に別れ、児童と一緒に給食とついた餅を頂きました。

今年、例年行っている餅つきと共に○×クイズも行いました。○×クイズでは、沼田町に関する問題や農作業に関する問題を出題し、楽しみながら児童へ沼田町で行われる農業の魅力を伝えることができました。

十一月七日、青年部沼田支部（鶴野翔太郎長）は、沼田小学校にて食育事業を行いました。この事業は沼田町の子ども達が暮らしている、地元の基幹産業である農業に対して農業者である青年部と共に会話を交えながら作業を行う事で、子ども達に食べる喜びや大切さを知ってもらおう事を目的に実施しています。

青年部秩父別支部 道外視察研修 沖縄農業を学ぶ



「沖縄食糧」の倉庫には、JA北いぶき産米をはじめ、道内各地から集められたお米が並んでいました



サトウキビの収穫に使うハーベスターに興味津々です

最後の研修先は、北いぶき産「なつぼし」、「きらら397」を取り扱っている「沖縄食糧株式会社」を訪問しました。こちらの企業は、北海道米の消費拡大キャンペーンとして北海道旅行を企画しているほど、北海道米の販売に力を入れています。現地でも北北海道の人気ぶりは、生産者として非常に嬉しいものとなりました。

二日目には、農業研究センター名護支所を視察。主にパインアップルやマンゴー等の園芸作物の他、サトウキビや「田芋」と呼ばれる水稻の転作物の生産技術、新品種の研究が行われていました。北海道とは、大きく条件が違う沖縄の稲作に参加者は興味津々でした。

青年部秩父別支部（戸村哲也支部長）は十一月十一日から十四日の四日間、沖縄への道外視察研修を実施し、盟友二名が参加しました。初日に訪れた「なごアグリパーク（やんばる）」は、六次産業化による農業の活性化を目的として名護市が運営する施設。第六次産業によって自立する農業者が事業を行うことができる設備があり、様々な農畜産物を用いて新商品開発、試作品を作ることが出来る環境が整っていました。



松山城をバックに記念撮影！

女性部秩父別支部 役員研修

女性部秩父別支部（我部山真美支部長）は十一月十七日から二泊三日で四国への役員研修を実施し、「株式会社井関松山製造所」と「香川県農業試験場」を視察しました。

農業機械等を製造している井関松山製造所では、材料の組み立て、加工、塗装など、トラクターが出来上がるまでの各工程を見学しました。工場の中では、人ではなく機械が自動で部品を運び、塗装を行い、機械化が進んでいる部分が多く



香川県農業試験場にて

ありました。

続いて、「香川県農業試験場」を見学。試験場の総面積は約十六haあり、米、野菜、花、小麦など多岐にわたり栽培しており、今回私たちは限られた時間の中で花と苺、ブロッコリーを見学しました。苺のハウスではミツバチの代わりにハエを使って苺を栽培しており、刺される危険がなくそのままの服でハウスの中に入ることができました。ハエにはあまり良いイメージはありませんが、栽培や医療にも使われているので、生産者が安心して栽培することができ

ます。

視察の他にも四国の歴史を学び、観光名所を回るなどして役員同士の距離が深まり、充実した役員研修となりました。

女性部秩父別支部 ステンドグラス講習会

女性部秩父別支部（我部山真美支部長）は十二月三日、北いぶき農協本所三階大ホールにてステンドグラス講習会を開催しました。講師には幌加内町にお住まいの吉成洋子さんと、吉成さんが開催しているステンドグラス教室に通う生徒七名の方々にお越し頂き、参加した部員三四名に丁寧にご教えて頂きました。

ステンドグラスのピースとなるガラス選びから始まり、その断面に「コーパーテープ」と呼ばれるハンダを載せるテープを貼り付けました。貼り付け作業を終えると、ハンダゴテを使い、ガラス同士を接着していき作品が完成。

初のステンドグラス講習会に参加した皆さんは、「難しい」「ハンダゴテを使うの学生の時から」など様々な声が上がりましたが、出来上がった作品を見て「かわいい！」「家で飾ろう」と盛り上がっていました。



テープ貼りはハンダ作業前の重要な作業
真剣な表情で丁寧に貼ります



自分の作りたい作品に合わせて、ガラスを選んでいきます

女性部エルダー秩父別支部 部員研修

秩父別支所エルダー（藤岡祐子会長）は、十一月二五日～二六日に部員研修を実施し、部員十七名が参加しました。本所三階中会議室にて深川市立病院リハビリテーション課作業療法士の佐原麻衣先生にお越し頂き、「足から健康になろう」と題し、足や腰など農家の方が痛めやすい下半身を重点に、痛めてしまう原因や改善方法について講話して頂きました。

足の外反母趾には



会話を楽しみながら行いました



「ホームマン体操」という両方の親指に輪ゴムを付け、足を閉じたり開いたりする体操や、椅子に座った状態で床に敷いたタオルを指で手繰り寄せたりする「タオルギャザー」という有効な運動、他に膝痛や腰痛について家でもできる対策を実践しながら教えて頂きました。

講習会終了後は東神楽町の「森のゆホテル花神楽」に移動し、日々の疲れを癒す良い部員研修となりました。



クラーク記念国際高校の生徒へJAについて説明するJA管理部職員（右から橋本職員、瀬川係長、岡部職員）

JA北いぶきは「ぬまわーく」に参加してきました！

「ぬまわーく」は、「沼田町しごと・未来応援プロジェクト」の一環で沼田町が主催し、近隣の高校生に沼田町の企業の魅力を知ってもらう目的で開催されています。一般的な企業説明会とは異なり、沼田町と関連のある企業・団体が各ブースで、その仕事や業界を説明し、それを通じた高校生との交流を目的として参加しています。

JA北いぶきも代表して管理部職員が参加してきました。昨年同様、「ほろしん温泉ほたる館」にて二度目の開催であり、一年生、二年生を中心にクラーク記念国際高校、新十津川農業高校、深川東高校から合わせて約一〇〇人の学生が参加しました。

はじめに、ゲストとして元全日本女子バレーボール代表の斎藤真由美さんが講演を行い、プロスポーツ選手としての経験を踏まえ、高校生の進路選択へアドバイスを送りました。

その後は、生徒が各ブースを順番に回っていきながら、企業・団体との交流へ。JA北いぶきも総合農協としての事業の幅広さや沼田町で行っている活動についてPR。さらに新人職員の体験や感想を中心に業務内容を説明しました。

参加した生徒たちは、多くが卒業後は就職と決意している様子を伺うことができ、良い交流となりました。

J A北いぶき 永年勤続表彰

十一月二十日、J A北いぶきは、令和元年（2019年）に勤続三十年並びに勤続二十年を迎えた職員に永年勤続表彰を行い、J A篠田組合長より記念品と感謝状の贈呈が行われました。

今回表彰された職員は次の通りです。

【勤続三十年】

最上 英樹
（営農販売事業本部付 北空知広域農業協同組合連合会出向 考査役）

【勤続二十年】

高橋 光
（管理部融資審査課長兼融資審査係長兼同部管理課長兼管理係長）
遠藤 祐介
（妹背牛支所米穀農産課長）



勤続20年を迎えた高橋課長（右）、遠藤課長（左）



勤続30年を迎えた最上課長

新採用職員紹介



村井 優太
妹背牛支所 営農推進課
営農推進係

覚える事がたくさんあり早く仕事をこなせるように努力したいと思います。精一杯頑張りますのでよろしくをお願いします。

- 退職（十一月三十日付）
有馬 正光
（営農推進事業部 営農推進課 営農推進係）
- 異動（十二月一日付）
能登 琢麻
米穀農産事業部米穀農産課
米穀農産係（管理部企画課企画係）
- 新採用（十二月一日付）
村井 優太
妹背牛支所 営農推進課 営農推進係

職員
動態

**PHOTO
だより**

11月21日に岩見沢で行われた空知管内JA青年部大会で最優秀賞に輝いた、JA北いぶき青年部のファームレター作品



女性部加入推進イベントでの森崎氏素晴らしい講演をありがとうございました



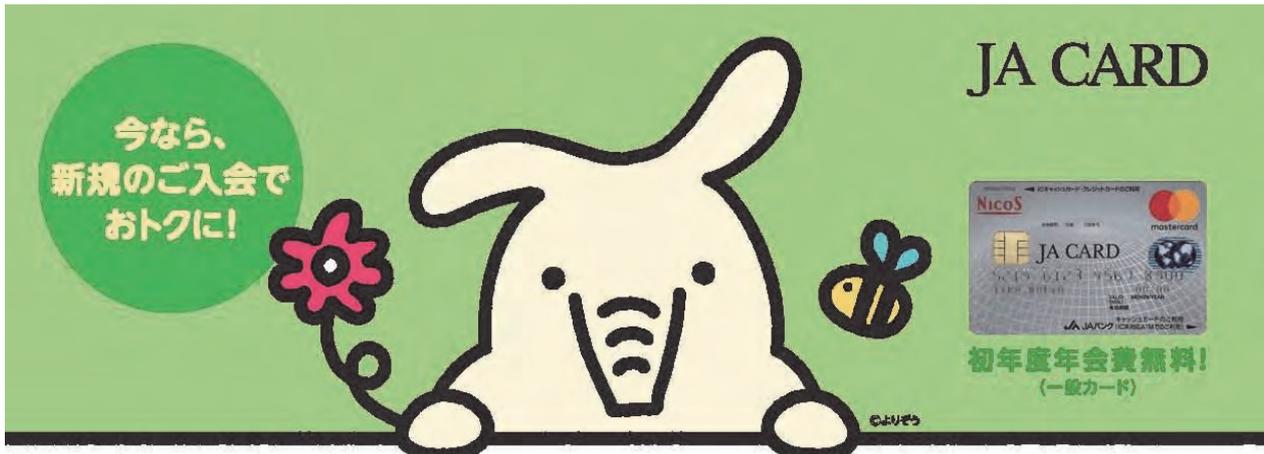
セスナ機に触れられる貴重な体験に驚きの表情の菅原潤一さん(妹背牛地区・妹背牛北)(空知管内JA青年部海外農業事情視研修にて)



なごアグリパーク内の体感植物温室には、思わず撮影したくなる植物展示が盛りだくさんでした(青年部秩父別支部道外研修にて)

Contents

- 年頭のご挨拶 北いぶき農業協同組合 代表理事組合長 篠田 雅 2
- 年頭のご挨拶 北海道農業協同組合中央会 代表理事会長 飛田稔章 3
- 年頭のご挨拶 空知農業改良普及センター 北空知支所 支所長 五十嵐正彦 4
- 年頭のご挨拶 北いぶき農業協同組合 青年部 部長 戸村哲也 5
- 年頭のご挨拶 北いぶき農業協同組合 女性部 部長 我部山真美 6
- 絆 ～THE YOUTH FACE～ 7
- 第30回 JA北海道大会 実践フォーラム 8
- 第4回 農事組合長会議 8
- 農事組合長視察研修 台湾の米事情を視察 9
- 冬期地区別農事組合別懇談会・女性部との懇談会 9
- 空知管内JA青年部 海外農業事情視察研修 10
- JA北いぶき女性部加入推進イベント 森崎博之氏による講演会を開催しました 11
- JA役員と青年部との意見交換会 12
- JA北海道女性リーダー研修・北海道家の光大会 開催 12
- 蔬菜類生産組合道外視察研修 13
- 北育ち元気村花き生産組合 女性研修会 13
- 広報JA北いぶき発行100号記念 プレゼントキャンペーン 14
- 理事会報告 14
- JAグループ通信 15
- 女性部妹背牛支部 部員研修ドアリース講習会開催 16
- 女性部フレッシュミズ妹背牛支部 冬期レクレーション開催 16
- 青年部沼田支部 沼田小学校での食育事業を実施しました 17
- 青年部秩父別支部 道外視察研修 沖縄農業を学ぶ 17
- 女性部秩父別支部 役員研修 18
- 女性部秩父別支部 ステンドグラス講習会 18
- 女性部エルダー秩父別支部 部員研修 19
- JA北いぶきは「ぬまわーく」に参加してきました！ 19
- JA北いぶき 永年勤続表彰 20
- 職員動態 20
- 新採用職員紹介 20
- PHOTOだより 21
- JAカードのご入会とご利用で最大6,800円相当のポイントプレゼント 22-23
- JAの自動車共済で万全なスタートを！ 24
- JA²MPを使ってみよう！ 25
- 年末・年始の営業時間について 26
- 秩父別給油所 営業時間の変更について 26



—— JAカードのご入会とご利用で ——

最大 **6,800円** 相当の
ポイントプレゼント

JAカード新規ご入会で
もれなく **2,000円** 相当のポイントをプレゼント

対象期間 2019年12月1日(日)～2020年3月31日(火)

上記期間中に新規ご入会(カード発行)の本人会員さま・家族会員さまが対象です。

◎ご入会(カード発行)日は、JAカードお届け時の「カード送付明細」でご確認いただけます(お申込日とは異なります)。



JAカードでのショッピングご利用と携帯電話利用料金のお支払いで
最大 **4,800円** 相当のポイントをプレゼント



合計最大 **6,800円** 相当のポイントに!

ポイントプレゼントの詳細は、裏面をご覧ください。▶

ご入会・ご利用で最大**6,800円**相当のポイントプレゼント

○ポイントは「JAカード わいわいプレゼント」または「JAカード ゴールドポイントプログラム」でご利用いただけるポイントです。
 ○特典の金額はポイントをキャッシュバック商品と交換した場合の金額(1ポイントを4円換算で交換)を記載しています。

JAカード 新規 ご入会で	<p>もれなく2,000円相当のポイント (500ポイント)をプレゼント</p> <p>対象期間 2019年12月1日(日)~2020年3月31日(火)</p> <p>上記期間中に新規ご入会(カード発行)の本人会員さま・家族会員さまが対象です。 ○ご入会(カード発行)日は、JAカードお届け時の「カード送付明細」でご確認いただけます(お申込日とは異なります)。 詳しくは(https://www.cr.mufg.jp/ja/6800/)をご覧ください。</p>	キャンペーン 登録 不要
JAカードの ご利用で	<p>「ご入会サックスプレゼント」 最大4,000円相当のポイント (最大1,000ポイント)をプレゼント</p> <p>5万円以上ご利用いただくと200ポイント、ご利用金額に応じて最大1,000ポイントをプレゼントいたします。 詳しくは(https://www.cr.mufg.jp/ja/thanks/)をご覧ください。</p>	キャンペーン 登録 必要
	<p>もれなく800円相当のポイント (200ポイント)をプレゼント</p> <p>○au、NTTドコモ、ソフトバンク、ワイモバイルが対象 詳しくは(https://www.cr.mufg.jp/ja/mobile200/)をご覧ください。</p>	キャンペーン 登録 不要

*プレゼントポイントの加算時期は、各特典によって異なります。

携帯電話利用料金のお支払いでさらにおトク!
ポイントが最大1年間2倍!

携帯電話利用料金のお支払いがあったご請求月のわいわいプレゼントの基本ポイントが2倍になります。お支払い開始が早いほどおトクです。

【ポイント2倍対象期間】 本人会員さまのご入会月から最大12ヵ月後(1年間)のご請求分まで
 *JAゴールドカードは対象外です。

〈12月10日にご入会いただいた方の例〉

ご入会(12/10)

対象期間 1/27~12/27ご請求分まで

入会後すぐにお手渡された場合
基本ポイント2倍期間(12ヵ月)

携帯電話利用料金をJAカードでのお支払いへ変更手続き

さらにJAカードはおトクが満載!

JA-SS、ホクレンSSでの給油
 (ハイオクガソリン、レギュラーガソリン)
 でご請求時に
2円/ℓ
 割引!
 (1ℓ未満切り捨て)

JA直売所・
 ファーマーズマーケット
 でのご利用で
 ご請求時に
5%
 割引!

キャッシュレス・
 消費者還元制度の
 対象店舗では
2%または5%
 ポイント還元
 (対象期間)
 2019年10月~
 2020年6月(予定)



初年度年会費無料
 ご利用条件を満たすと
 次年度以降の年会費も無料に。
 *JAゴールドカードは対象外です。

*Apple Payでのお支払いは、割引対象外です。
 *一部、対象外の店舗、商品・サービスがあります。詳しくはご利用時に各店舗にてご確認ください。
 *本紙掲載の特典は2019年11月現在のものであり、予告なく内容を変更または終了する場合があります。
 *JAビジネスカード、JAコーポレートカード、JCBブランドのJAカードは、本紙掲載特典の対象外です。

お申込み・各種サービスについては、お近くのJA窓口、職員までお気軽に。



各種特典、サービスの詳細はWEBサイトにてご確認ください。
 三菱UFJニコス JAカードWEBサイト
<https://www.cr.mufg.jp/ja>



新生活を迎える皆さまへ

JA共済 R2.1月

JAの自動車共済で 万全なスタートを!



年齢層別の事故件数は**20代以下が最も多くなっています**。そこで、万一に備えるためには十分な保障が必要です。特にオススメは**クルマスター!**

令和2年1月に6等級・7等級の新規契約の掛金率の見直しを行い、以前よりも**少ないご負担で加入**いただけるようになりました。



自動車共済クルマスターなら

リスクを幅広くカバーする手厚い保障が安心です。

相手方への保障
「対人賠償」「対物賠償」

ご自身とご家族の保障
「人身傷害保障」「傷害定額給付保障」

お車の保障
「車両保障」「車両諸費用保障特約」

JA共済オリジナル! お得な掛金で、負担が軽くなるかもしれません。

「自賠償共済セット割引」
対人賠償の共済掛金 **7% 割引**

「複数契約割引」
共済掛金 **5% 割引**

「新車割引」
共済掛金^(※) **最高5% 割引**
※車両保障、対人賠償、対物賠償、人身傷害保障ならびに傷害定額給付保障の共済掛金に適用します。

「自動継続割引」
共済掛金 **2% 割引**

「ASV割引」
共済掛金^(※) **9% 割引**
※車両保障、対人賠償、対物賠償、人身傷害保障、傷害定額給付保障ならびに車両諸費用保障特約(代車費用のみ)の共済掛金に適用します。

※上記以外にも「長期優良契約割引」「農業用貨物車割引」などがあります。 ※割引の適用には所定の条件があります。

もしものときに頼れるサービス・体制が充実しています。

- 24時間365日の事故受付
- レッカーサービス
- ロードサービス
- 夜間休日現場急行サービス など

事故対応窓口……全国約 **2,530** か所
損害調査サービス担当者……全国約 **5,450** 人
(平成31年4月1日現在)

※サービスのご利用にあたっては所定の条件があります。



※JA自動車共済利用者満足度調査。平成30年度実績(JA共済調べ)。満足・やや満足のお返割合、小数点第2位を四捨五入

この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には、「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

JAの自動車共済
お見積り
キャンペーン

キャンペーンWebサイトはこちら
<https://car-cp.ja-kyosai.or.jp>

お問い合わせ



JA²MPを使ってみよう!

農業イベントや関連施設のチェックインスポットラリー、直売所から発信するオススメ農畜産物情報など、JAグループ北海道ならではの、おトクなコンテンツが満載です!

食と農のおトクな情報にジャンプ!
JAグループ北海道のスマホアプリ。

チェックインスポットラリー

農業イベントで、ポイントを貯めよう!

季節の農業イベントや、全道各地に多数あるJAグループ北海道の関連施設(直売所、ガソリンスタンド、JAバンクATM、医療施設、Aコープ等)にチェックインすると、ポイントが貯まる!週末などにお出かけの際は、近くのチェックインスポットを探すこともできる、便利な簡単なポイントラリーです。ポイントを集めると、豪華な景品が当たるプレゼント抽選会に応募できます。



オススメ農畜産物情報

直売所からの、とれたて情報をゲット!

全道各地にあるJAの直売所から、旬の野菜、地域自慢の特産品などの情報をタイムリーに発信!お出かけ先近くの直売所で何が売られているかも、簡単にチェックできます。中には、そでしか手に入りにくい、珍しい農畜産物も...?さらに、直売所までのルートもすぐにナビゲート!



今月の特集

テーマにそって、食と農に関するおトクな情報や、季節の楽しい農業イベントなどを次々ご紹介!毎月更新していく予定ですので楽しみに!

お知らせ

食と農に関する耳よりなニュースを、各JAグループ北海道からお届けします。

ダウンロードは
コチラ



●動作環境: iOS 8以降、Android OS 4.4以降を推奨。※OSのバージョン、機種により正しく表示されない場合があります。 ●左記は今後予告なく変更となる場合があります。
●[Android][Google Play]は、Google Inc.の商標または登録商標です。 ●[iPhone][App Store][iTunes]は、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標または登録商標です。 ●本アプリのダウンロードおよびご利用には別途通信料がかかります、お客様の責任となります。(本アプリのバージョンアップの際や本アプリが正常に動作しないことにより再設定などで追加的に発生する通信料を含みます。)

※画像はすべてイメージです。

● 年末・年始の営業時間について ●

月 日	部 門 事 務 所 (融資経済課 窓口含む) 宮農販売事務所 (株父別)	生産資材店舗 農機車輛店舗	貯金共済店舗	A T M		給油所 (セルフスタンド)		
				本 所 (株父別)	支 所 (妹背牛・沼田)	株父別	妹背牛	沼 田
12/27 (金)	8:45~ 17:15 (仕事納め)	9:00~ 17:00 (仕事納め)	9:00~ 16:00	9:00~ 18:00	9:00~ 18:00	7:00~ 20:00	8:00~ 18:00	7:30~ 18:00
12/28 (土)	休 業	休 業	休 業	9:00~ 17:00	9:00~ 17:00	7:00~ 20:00	8:00~ 18:00	7:30~ 18:00
12/29 (日)	休 業	休 業	休 業	9:00~ 17:00	休 業	7:00~ 20:00	休 業	休 業
12/30 (月)	休 業	休 業	9:00~ 16:00 (仕事納め)	9:00~ 18:00	9:00~ 18:00	7:00~ 20:00	8:00~ 18:00	7:30~ 18:00
12/31 (火)	休 業	休 業	休 業	9:00~ 12:00	休 業	7:00~ 15:00	8:00~ 15:00	7:30~ 15:00
1/1 (水)	休 業	休 業	休 業	休 業	休 業	休 業	休 業	休 業
1/2 (木)	休 業	休 業	休 業	休 業	休 業	休 業	休 業	休 業
1/3 (金)	休 業	休 業	休 業	休 業	休 業	休 業	休 業	休 業
1/4 (土)	休 業	休 業	休 業	9:00~ 17:00	9:00~ 17:00	7:30~ 19:00	8:00~ 18:00	7:30~ 18:00
1/5 (日)	休 業	休 業	休 業	9:00~ 17:00	休 業	7:30~ 19:00	休 業	休 業
1/6 (月)	8:45~ 15:00	9:00~ 15:00	9:00~ 15:00	9:00~ 17:00	9:00~ 17:00	7:00~ 15:00	8:00~ 15:00	7:30~ 15:00
1/7 (火)	8:45~ 17:15	9:00~ 17:00	9:00~ 16:00	9:00~ 18:00	9:00~ 18:00	7:30~ 19:00	8:00~ 18:00	7:30~ 18:00

(株)まちづくりぬまた 物産サービスセンター ダ・マルシェ 沼田店	12月31日 1月1日・2日・3日 1月4日・5日 1月6日以降	8:30~17:00 休 業 8:30~17:00 8:30~17:30 (土・祝日 8:30~17:00)	(株)ホクレン商事 (エーコープ株父別店)	12月28日・29日・30日 12月31日 1月1日・2日 1月3日 1月4日 1月5日 1月6日以降	9:30~19:00 9:30~18:00 休 業 10:00~18:00 10:00~19:00 9:30~19:00 10:00~19:00
	12月31日 1月1日・2日 1月3日以降	9:00~17:00 休 業 9:00~19:00			

● 株父別給油所 営業時間の変更について ●

日頃よりご利用いただきまして誠にありがとうございます。
 株父別給油所の営業時間につきまして、**1月4日**から下記のとおり変更させて頂くこととなりましたのでお知らせいたします。
 組合員の皆様には、ご不便をおかけいたしますがご理解・ご協力をお願い申し上げます。

変更後 (1月4日より) 7:30~19:00 (変更前 7:00~20:00)